

# クリエイティブ京都 M&T

Management & Technology for Creative Kyoto

京都府産業支援センター 公益財団法人 京都産業21 & 京都府中小企業技術センター

5  
May 2019  
No.155

- 01 シリーズ「京の技」 — (株)ニッサンキコー
- 03 企業連携フォーラム2019 開催報告
- 05 京都府よろず支援拠点事例発表セミナー 開催報告
- 06 京都次世代ものづくり産業雇用創出プロジェクト  
成果報告会
- 07 設備貸与企業紹介 — (株)白水舎
- 08 小規模企業者等ビジネス創造設備貸与制度のご案内
- 09 「海外出願・侵害対策支援事業」の公募について
- 10 下請かけこみ寺のご案内
- 11 FOODEX JAPAN 2019 「京都ブース」出展報告  
「京都のこだわり食材試食会・商談会」開催報告
- 12 第1回京都インターナショナル・ギフト・ショー2019  
共同ブース 出展報告
- 13 こんにちは、京都産業21です。
- 14 受発注あっせん情報
- 15 研究会の会員を募集しています  
不良解析技術研究会
- 16 機械設計・計測技術研究会
- 17 京都実装技術研究会、京都光技術研究会
- 18 「京都府製造業の現状2018」調査結果の概要
- 19 京都府中小企業特別技術指導員と  
ハイテク技術巡回指導
- 21 第63回京都府発明等功労者決まる
- 22 京都発明協会からのお知らせ
- 23 トピックス



P.1

シリーズ「京の技」  
「京都中小企業技術大賞」



P.3

企業連携フォーラム2019



P.5

京都府よろず支援拠点  
事例発表セミナー



P.7

設備貸与企業紹介



P.17

京都実装技術研究会



P.17

京都光技術研究会

優れた技術・製品の開発に成果をあげ  
京都産業の発展に貢献している  
中小企業を紹介

# 京シリーズの技

第37回

代表取締役社長  
大浦 之博 氏



平成30年度「京都中小企業技術大賞」を受賞された企業の概要、受賞の対象となった技術・製品について、代表者にお話を伺います。

## 株式会社ニッサンキコー

<https://www.nissankiko.co.jp/>

### インターネット通販における包装・梱包・宛名貼りの自動システム「Pack in Box System」を開発

#### シュリンク包装の技術を応用した 工業向けの自動集積包装機からスタート

当社は1977(昭和52)年、包装機メーカーとして設立しました。製品づくりに向けて、創業者である私の父が着目したのが、欧米で盛んだったシュリンク包装の技術を応用した包装機です。シュリンク包装とは、商品を透明なフィルムで覆い、加熱収縮によって商品の形状に密着させる包装技術。イメージしやすいものの一つとして、カップ麺の包装が挙げられます。薄いフィルムを容器にぴたっとフィットさせる工程において、シュリンク包装の技術が用いられています。

包むものの形を選ばず、カップ&ソーサーさえもぴたっと固定させることができたことから、工業系の集積包装への応用を思い立ち、開発に着手。化学メーカーに、当時の日本にはなかった透明性・耐衝撃性・強度に優れたポリエチレン製シュリンクフィルムの開発を依頼するなどの過程を経て、日本で初めてシュリンク包装による集積包装機を完成させました。

そこから当社は、食品向け包装機が中心だった当時において、工業用包装機に特化して展開していきます。転機の一つとなったのは、1978(昭和53)年に開発した、アルミサッシや雨戸、ドアといった建具や建材の個包装に対応する平板用自動包装システムです。従来のダンボールから透明フィルムに切り替えることで大幅なコストダウンが実現する点、加えて、中身が見えるため荷扱いが改善され、傷や凹みなどによる返品率も大きく低下する点が高く評価され、住宅着工戸数が伸びる中、大いにヒットしました。その後、紙を用いていた反物の包装や、ダンボール箱を使っていた菓子の集積包装などにもシュリンク包装を応用。そのたびに、顧客との打ち合わせを積み重ね、その中で生まれた要望を実現するためのアイデアを形に

してきました。今も変わらぬそのスタイルこそが、当社の強みだと考えています。

#### 1台で多様な形・サイズ・量の商品に対応し 高効率・低コスト化に寄与する自動システムを開発

受賞の対象となった、包装・梱包・宛名貼りの自動システム「Pack in Box System」の開発に着手するきっかけとなったのは、通販最大手であるA社からの依頼です。A社が書籍に特化していた2002(平成14)年、日本上陸にあたり、当社が書籍専用の包装機を開発したのですが、その後、書籍以外の多様な商品を扱うようになったため、特に、緩衝材を詰める作業にかかる人件費が課題となっていました。

「自動化したい」との要望に応え、他の機械メーカーとの連携のもと2003(平成15)年に完成させたのが同システムです。形状・サイズ・個数の異なる商品を台紙にセットしコンベアに供



「Pack in Box System」に導入されている「スリーブシュリンク包装機」

給するだけで、それらを一つにまとめるシュリンク包装、そのサイズに応じたダンボール箱の製函・供給、箱への商品の投入・固定、箱の封函、宛名ラベルの貼り付けまでを自動で行うことが可能。最大で毎時1,000パックの処理能力を誇り、オペレーターが必要となるのは投入部と排出部のみのため、包装・梱包・宛名貼りに関わる作業時間短縮と人件費削減が同時に実現できます。また、シュリンク包装した商品は台紙ごと、糊などで箱に固定するため、緩衝材は不要。包装資材の大幅な減容・コスト削減に貢献します。

カギとなったのは、当社が担当したシュリンク包装機。この工程で商品の順番が逆転するなどの不具合があると、ラベルがずれるといった下流でのトラブルの原因になるため、ミスは許されません。商品ごとに異なるフィルムの使用量を正確に計測し、確実に供給・包装することが求められます。想定外の課題が次々と立ちはだかる中、仕様の見直しとテストをひたすら繰り返すことでクリアしていきました。

完成後は、業界を問わず、インターネット通販を手がけるあらゆる企業で導入いただいています。

## 新たな包装機づくりに挑戦しながら、 海外市場への展開を推進していきたい

今回の受賞は、顧客の要望に応えるべく、試行錯誤を重ねてアイデアを形にするという、当社が当たり前のように行って



必要量の透明フィルムで覆った、  
シュリンク包装前の商品



加熱収縮により透明フィルムを密着させた、シュリンク包装後の商品

きたことの価値を客観的に認識する、貴重な機会となりました。結果として社員のモチベーションが高まったことは大きな収穫です。

目標の一つは、今までと同様に、新たな包装機の開発に挑戦し続けていくこと。現在はA社からの依頼で、新方式を取り入れた包装機の開発を進めています。また2019(平成31)年春には、アパレル企業のオーダーに応え、衣類のインターネット販売に対応した包装機を完成させる予定です。

そしてもう一つ、海外市場への展開も推進していきます。2018(平成30)年より、各国に拠点を持つ商社と連携し準備を進めてきました。「Pack in Box System」の開発を通して確立した、多様な商品に対応する技術とその正確性は、国内外に関わらず、インターネット販売における包装・梱包・ラベリングの自動化に必須。これを武器とすることで、海外市場の開拓・拡大を図ることができると自負しています。

### 技術者から一言



製造グループ グループ長 チーフ 小松 正俊 氏

“何を包装するかがわからない機械”を手がけるのは今回が初めて。その過程でプラスとなったのが、普段から大切にしている「テストでいかに追い込むか」という姿勢です。特に苦労したのは、商品にフィルムを供給する工程。手法の特性上、商品に一定の重さが必要ですが、商品が想定範囲を超えて軽いため止まってしまうなど、課題は多数にのぼりました。それらを可能な限り納品前に発見・解決することこそが開発の醍醐味であり、そうした日々の積み重ねが、受賞につながったのだと感じています。

### Company Data

- 代表取締役/大浦 之博
- 所在地/京都府宇治市横島町吹前107番地
- 電話/0774-22-1115
- 創業/1977(昭和52)年
- 事業内容/フィルム包装機械の設計・製造・販売、包装資材等の販売

●お問い合わせ先/ (公財)京都産業21 新産業推進部 新産業推進グループ TEL: 075-315-8677 E-mail: create@ki21.jp



Dreaming of the future with Thin Film Technology

## さあ未来を もっと、夢みよう。

サムコは、薄膜技術のパイオニアです。

サムコは半導体と材料開発の分野で、1979年の設立以来、薄膜の形成や加工など、最先端のプロセス技術を半導体デバイス分野などに提供しています。私たちはこれからも、薄膜技術のパイオニアとして世界の産業科学の未来を拓きます。

— 新エネルギー 医療/バイオ 電子部品 環境エレクトロニクス —

**samco**  
PARTNERS IN PROGRESS

サムコ株式会社 [www.samco.co.jp](http://www.samco.co.jp)

東証一部 証券コード 6387

本社 〒612-8443 京都市伏見区竹田藁屋町36 TEL (075) 621-7841 FAX (075) 621-0936

# 企業連携フォーラム2019



3月6日、京都リサーチパークで「企業連携フォーラム2019」を開催しました。

独立行政法人中小企業基盤整備機構の東孝一氏による基調講演の後、4つの企業連携による事例紹介を実施。企業連携について意義や進め方等多くの参加企業にとって貴重な情報収集の場となりました。



基調講演

取材

## ベンチャー・中小企業連携による 新たな価値創造への挑戦

東孝一氏

独立行政法人中小企業基盤整備機構 近畿本部 チーフアドバイザー

今日は、中小企業の新規事業展開、連携による事業創出、大手企業への新規ビジネス創出についてお話しいたします。

新規事業展開プロセスの中で最も重要なのは、企業理念です。これは大企業でも中小企業でも同じです。3年後、5年後、10年後のビジョンを描き、会社として将来どうありたいのかを定めることがまず必要です。

そして、現状把握を行います。市場環境(3C)分析、Customer(顧客)・Competitor(競合)・Company(内部)のそれぞれを分析し、自分たちがどういう立場にあるのかを冷静に見てください。

その後、何を、何に、どのように変えていかなければならないかという戦略課題を発見し、そのためには何を目指し、どのような筋道を描くのかという戦略を策定します。3C分析の結果、新規事業の展開は難しいという課題が発見された場合は、誰かの力を借りるという戦略もあり得ます。そこで「連携」が出てくるのです。

一つの事例をご紹介します。光ディスク検査装置メーカーが、光ディスク事業の縮小のため、第2の柱となる新規事業の展開を行った例です。

この企業は、3C分析によって3D関連事業が成長分野であることを認識した上で、自社にコア技術はあるが単独での開発は困難であるという戦略課題を見つけました。そして、大学やその周辺の企業と連携するという戦略を策定し、3D計測装置の開発、事業化に成功しました。その後、連携の規模を拡大することによって医療機器分野への進出も果たし、自社製品による3D計測をサービス事業として展開するに至っています。この事例の成功要因は、コア技術を活用していることと、事業連携による事業展開を行ったことにあると思います。

企業間連携、産学連携など、さまざまな連携の形がありますが、私たち中小機構が、独自のものづくり連携を模索する中で生まれたのが「n&Nイノベーション推進事業」です。複数のベンチャーや中小企業(n)が連携することにより、複数の大企業・中

堅企業(N)の技術課題や市場課題の解決を図りつつ、新たな価値を創造し、市場創造を展開するものです。

この事業によって私たちが目指したのは、技術をお金に変える仕組みによって新たな価値、新たな事業を展開すること、優れた技術をより優れた技術にするシナジー効果、中小企業の弱みである販路開拓、マーケティング活動の支援をすること、世界に通じる技術やシステムを創出し、日本に産業を残すこと、そしてグローバルメガコンペティションに勝つことです。

2010年8月に始まり、2014年3月までに18回のイノベーション会議が開かれ、466組織(主催者・関係者除く)が参加しました。レーザー、3D、リチウムイオン電池、産業用ロボットなど成長分野の事業化に加え、中小企業ではあまり手掛けられてこなかったオフィス環境の変革に取り組む企業も支援しました。この事業への参加をひとつのきっかけにして飛躍した中小企業もあります。

2018年3月には、技術革新のスピードが速い時代に対応するため、さまざまな機関がそれぞれの得意分野を活かして中小企業を支援する「イノベーション推進協議会」が発足しました。

私は会長として、大阪産業技術研究所、大阪大学、池田泉州銀行など、幅広い分野の支援機関が連携することによって、優れた技術を持つ中小企業が、新たな価値を生みだせるようサポートしたいと考えています。

最後に、中小企業のさらなる発展に向けた4つのキーワードをご紹介します。

「顧客本位」顧客の価値創造をすべてに優先させること。

「独自能力」独自能力の強化でグローバル競争に勝つこと。

「社員重視」社員の尊厳を守り独創性を発揮すること。

「社会との調和」企業は社会の一員である。

皆さんも、これらを頭に置いて企業活動をしていただければと思います。

## 企業連携事例紹介

株式会社アイケイエス 代表取締役社長 今井 尊史 氏 ●連携企業：平安建設工業(株)・(株)富士製作所・(株)ITM



当社は、多くの企業や研究機関と連携することによって、リチウムイオン蓄電池を使用したエネルギーシステムの商品開発を行いました。連携する企業・研究機関を拡大するために当社が行ったのは、保有技術の非公開部分を最小限にした公開です。一つのテーマに関する技術を公開すると、次の連携先が現れ、次のテーマが生まれます。こうして仲間を増やしながら研究開発を行って来ました。連携の中で技術や商権を確保するためには、他社に先行して研究開発を行うこと、特許の先行取得または大手との共同出願を行うこと、また、テーマごとに複数の企業と連携することが大切です。

株式会社アドインテ 執行役員 荒川 邦雄 氏 ●連携企業：(株)T-STYLE・ポノス(株)



スマホの電波信号をキャッチしてリアルタイムの動態計測が行える当社の「AI Beacon」を利用した連携を行っています。外国人向けフリーペーパーを発行する企業との連携では、アプリによる観光客向けコミュニティポータル提供と、行動履歴データの収集を実現しました。ゲーム配信企業との連携では、京都の街でゲームを展開させ、ユーザーには新しい観光体験を、自治体には観光促進策を提供しました。一社でできることには限りがあります。目的とコンセプトが合う企業と連携し、新しい知見を吸収しながら、win-winの関係を作ることが大切だと思います。

株式会社光響 代表取締役CEO 住村 和彦 氏 ●連携企業：PCL(株)



当社は「レーザー界のプラットフォーム」として、お客様の悩みをレーザーで解決する企業です。従来品の不備を解消した新しいレーザークリーナーの開発を依頼された際に、同じレーザー関連企業と連携を行いました。研究開発力、販売力のある当社が、旋盤や溶接機などを保有し現場力のある企業と組むことによって、互いに得意なレイヤーへ集中することができました。また、規模が大きくなることによって、マーケティング力が上がり、コストが下がり、利益も上がり、win-winの関係を築くことができました。

株式会社ナベル 開発本部 研究グループ 部長代理 榎森 亜由子 氏 ●連携企業：(株)ヤマモト



食用鶏卵の検査装置を製造販売する当社へ、同じ鶏卵でも、孵化させるための種卵の検査装置を輸入販売する企業から、国産で精度・品質の高い検査装置の開発相談があり、共同開発という形をとりました。基礎研究から始めて技術開発を行い、従来とは全く違う方法で、高精度の検査が可能な検査装置の開発に成功。ニーズを把握していた企業と、技術のある当社が連携することによって、互いに強みを活かした役割分担ができました。当社はこれまで単独でのづくりをしてきましたが、今後、さらなる協力関係を強め、ビジネスチャンスを拡大していきたいと考えています。

●お問い合わせ先 / (公財)京都産業21 新産業推進部 新産業推進グループ TEL:075-315-8677 E-mail:create@ki21.jp



島津製作所、  
お茶を科学する。

株式会社 島津製作所  
分析計測機器 | 医用機器 | 航空機器 | 産業機器

なぜ、お茶を飲むと気持ちが落ち着くのか。  
その答えは「テアニン」という成分にありました。

茶葉に含まれるこの物質は、  
脳へのリラックス効果をはじめ、  
認知症予防の効果も期待される成分。  
その研究に、島津製作所の分析技術が貢献しています。

科学技術で社会に貢献する島津製作所。  
これからは食の安全や、人の健康、  
地球環境から産業の発展まで。  
さまざまな課題に答えを出していきます。

世界に答えを。



**SHIMADZU**  
Excellence in Science



高速液体クロマトグラフ質量分析計

参考文献：片岡 洋祐 他「テアニン高含有緑茶採摘による高齢者の認知症予防効果」日本未病システム学会雑誌 15(1), 17-23, 2009



## 小さな規模で、大手に負けない結果が出せる

3月5日、京都リサーチパークにおいて「京都府よろず支援拠点事例発表セミナー」を開催しました。本拠点を活用して経営課題解決に取り組まれた2社による事例発表、よろず支援拠点 全国本部アドバイザーボード 委員長を務める中嶋 修氏による講評の後、2社を支援したコーディネーターを交えて質疑応答が行われました。



Café T.M en(カフェティーエムエン)代表

### 城戸 実地 氏

「てまりさんど」あこがれの  
デバ地下での販売を実現

大人の書齋をイメージしたカフェ、LIFESTYLE LAB Café T.M enをオープンしたのは2015(平成27)年のことです。3年で閉店したものの、京都の手まり歌をヒントに開発した、人気メニューだった丸いパンのサンドイッチ「てまりさんど」を商品化したいという思いをもって、京都府よろず支援拠点を訪れ、商品化を目指すことにしました。

百貨店のバイヤーの方をご紹介いただいたことを機に、準備が本格化。百貨店の品質管理基準に沿った自宅作業場のチェック、食品検査、パッケージの見直しなどに取り組みました。そして、2019(平成31)年4月よりジェイアール京都伊勢丹で販売することになりました。試行錯誤の連続ながら諦めずにやり遂げることができたのは、専門家・専門機関の紹介やパッケージに関する助言など、コーディネーターの方のサポートがあったからこそ。何より、バイヤーの方との面談後、未知なる世界に挑戦することへの不安から迷いが生じていた私を励まし、背中を押してくださったことが夢の実現につながりました。

#### 中嶋氏からのメッセージ

今回の成功は、まさに城戸さんの強い思いと努力の結晶です。女性の創業希望者は増加傾向にあるので、今後はぜひその経験を、創業セミナーでの講演など、あとに続く女性起業家に伝えて頂きたいと思います。



株式会社波多野製作所 代表取締役

### 波多野 隆史 氏

人手不足のものづくり企業で  
3名の新規採用に成功

当社は1925(大正14)年、歯車や歯車工作機械のメーカーとして大阪でスタートしました。第二次世界大戦のため創業者である祖父の地元、綾部市に疎開し、ねじの製造を手がけるようになりました。強みは、多品種小ロット同時大量生産を実現している点です。現在は、ねじ大手企業のOEM工場として、8000本の小ロットから2000万本の大口までを同時生産対応し、約800種類を月に約1億本製造しています。

当社の課題は、人財不足。以前から作業改善に取り組んできましたが、多品種小ロット同時大量生産の実現には、技術の継承とチームの力が不可欠です。しかし、次世代を担う20~30代の人財確保が難しく、危機感を抱いていました。そうした年齢層との接点はなく、当社の知名度が低いこともあって、採用を実現できずにいました。相談相手もおらず困っていたところに出会っ

たのが、京都府よろず支援拠点のコーディネーターの方です。

コーディネーターの方から、「まず自社で必要な人財の人物像を明確にしてください」と目からうろこの助言を頂きました。それまでは、給与や休暇といった従業員の処遇に気をとられていました。また、当社が必要とする人財に出会うためには、行政や金融機関、商工会議所による相談会・就職フェア・育成事業などを積極的に活用し、そこで名刺交換した人に見てもらうためにホームページを開設するというアドバイスも並行して実践していきました。そしてある日、「京都次世代ものづくり産業雇用創出プロジェクト」の一環として行われる企業と求職者のマッチングを図る交流会の情報をキャッチ。そこで登壇できるチャンスを頂きました。その結果、交流会で出会った20代2名、30代1名の計3名を採用することができました。

京都府よろず支援拠点到相談することで、小規模でも行動すれば人財を確保できることに気づけたこと、京都府の進めている「知恵の経営報告書」を作成していたことで、当社の理念やビジョンについてばれることなく語れたことが大きかったと感じています。

#### 中嶋氏からのメッセージ

自社が必要とする人物像を明確に打ち出し情報収集や各種セミナーに対する積極的な姿勢と行動力に感銘を受けました。生産工程改善に向けた取り組みも素晴らしいですね。今後は同じような悩みを持つ企業にこの経験を伝えて頂く活動などを始めて頂きたいと思います。

### 中小企業の経営者を「一人にしない」相談所

よろず支援拠点は2014(平成26)年、中小企業・小規模事業者を対象とした無料の経営相談所として、全国47都道府県でスタートし、発足から3年で全国の相談件数は52万件にのびりました。経営改善、売上拡大などあらゆる経営課題に対応しているほか、事業承継のサポートや女性起業家支援、また2017年度からは、行政や日本政策金融公庫などでコーディネーターによるミニセミナーを行う「よろず寺子屋」も展開しています。コーディネーターは、中小企業診断士や社会保険労務士、情報処理技術者など、多様な分野に精通したスペシャリストが在



籍。それぞれが専門性を活かし、本質的な課題の見える化と最適な解決策の提案を行っています。

よろず支援拠点 全国本部アドバイザーボード 委員長  
板橋区立企業活性化センター センター長

### 中嶋 修 氏

#### よろず支援拠点からのお知らせ

よろず支援拠点では財団本部のほか4月1日より京都経済センターにもコーディネーターを置き、府内支援機関と連携して相談にお応えしています。ご活用ください。

## 京都次世代ものづくり産業雇用創出プロジェクト 成果報告会

### 企業の最も重要な課題は「取り巻く環境変化の中、持続的成長を如何に図り続けるか」である ~新たな組織活動論から考える~

2019(平成31)年3月15日(金)、京都リサーチパークにおいて、2013(平成25)年10月に開始し、2019(平成31)年3月末に終了する「京都次世代ものづくり産業雇用創出プロジェクト」の成果報告会を開催しました。報告会では、京都府商工労働観光部の小山哲史雇用政策監が5年半に及んだ事業の取り組みとその成果を報告。その後、本プロジェクトのディレクターである西口泰夫氏にご講演いただきました。

取材

京都次世代ものづくり産業  
雇用創出プロジェクト・ディレクター  
Gyr Falcon Technology Japan 株式会社  
代表取締役会長兼CEO  
元京セラ株式会社 代表取締役会長兼CEO

## 西口 泰夫 氏



### 部分最適を実現しつつ 全体最適を目指すことが重要

企業にとって最も重要で、かつ最も難しい課題は、「いかに持続的に成長し続けるか」です。本日はそれについて、とりわけ組織全体がどのように活動すればいいのかという切り口でお話したいと思います。

企業は市場や社会とのやりとりの中で経営を進めています。市場や社会は絶えず変化しているのに対し、研究開発や製造、販売といった企業の組織体制は、ほぼ固定しています。固定的な体制で変化する市場や社会に対応していかねばならないところが、企業の持続的成長が難しい理由です。

その例を示すと、日本のエレクトロニクス産業は現在、縮小の一途をたどっています。ここまで縮小してしまった最大の理由は、アナログからデジタルへ、コンピュータへという世界的なパラダイムシフトに乗り遅れたことにあります。軍事技術だった情報通信技術が民間企業で活用され始めた1970年代のアメリカは、貿易摩擦によるジャパンバッシングの真只中。そのためITのコア技術がアメリカから日本にもたらされることはありませんでした。その結果、IT産業の振興に対応できなかったことが、今日のエレクトロニクス産業の衰退を招いたと考えています。

ではなぜ日本のエレクトロニクス産業は衰退したのでしょうか。日本は決して技術開発を怠っていたわけではありません。事実、液晶を例にとっても日本は莫大な研究開発投資を行い、特許数も世界で群を抜いています。ところが液晶を使ったテレビやスマートフォンのシェアになると、日本は大きく後塵を拝しています。液晶だけでなく、太陽電池などさまざまな技術において、日本は圧倒的な技術を持っていながら事業では世界に負けているのです。

その理由は、多くの企業が販売のことまで考えずに研究開発を行っていることにあります。ぜひ企業の方々に実践していただきたいのが、研究開発から販売まで一本の「矢」を通すこと。何を研究開発するかを決める時にマーケティング、製造、販売の各部門のキーマンが集まり、マーケットから売れるものを導

き出すことが重要です。技術だけの産物は絶対に売れません。強い信念を持って開発から販売まで一本の矢を通し、マーケットから開発製品を考えていただきたいと思います。

同じことを企業組織の角度から説明すると、次のようになります。マーケティングや営業、開発など各部門が成果を出すことは大前提ですが、重要なのはそれらがすべて企業として同じ方向を向いていること。各部門が部分最適を図りつつ、そのすべてが全体最適に向かうことが理想です。

今回の「京都次世代ものづくり産業雇用創出プロジェクト」を進める上でも、この方針を貫きました。京都府・京都市の各部門の方々が自分の役割を果たして部分最適を実現しつつ、それらが全体最適に向かう。そうした仕組みを皆さんと一緒に作れたことが、今回のような大きな成果につながったと思っています。

### 新たな雇用を生み出す 超高付加価値事業の創出に挑む

2013(平成25)年から、更には2016(平成28)年からと2度にわたって続いてきた本プロジェクトですが、次年度からは新たなプロジェクトが計画されています。次のプロジェクトでは、勤務日数月19日以内、労働時間は月160時間以内、報酬月額257,600円以上で2,405名の正規雇用が目標に掲げられています。この達成はこれまでとは比べものにならないほど難しいものになります。こうした雇用を可能にするには、超高付加価値事業が必要です。私が引き続きディレクターを引き受けたのは、これからの京都をけん引する企業の方々と一緒にこの課題に挑み、これまでになかった高付加価値の事業を創出したいと思ったからです。

一方で、私はAIという最先端の技術を持ったアメリカのITベンチャーの役員に就任、さらには2019(平成31)年1月にその日本法人を立ち上げ、会長兼CEOに就任しました。私自身も世界ナンバーワンの技術で、新プロジェクトで雇用を生み出せるような超高付加価値事業の創出に挑戦していきます。

### 2019(平成31)年度からは 新プロジェクトが始まります!

AI・IoT人材の育成等を通じた生産性向上・働き方改革を進め、高付加価値で安定的な正規雇用を創出する新たなプロジェクトを開始します。

事業内容が決定次第、クリエイティブ京都M&Tやホームページでお知らせいたします。



## 設備貸与企業紹介

株式会社白水舎

<https://cleaning-hakusuisya.com/>



### 城陽市を中心にクリーニング店を展開



代表取締役社長 塚本保久氏

当社は1955(昭和30)年に創業し、城陽市に隣接する井手町でクリーニング業をスタートしました。当初は集配訪問サービスを専門にしていたのですが、二代目となる私が入社したのを機に大手クリーニング会社の取次店として店舗営業を開始。その際、当時全国でも珍しかった「即日仕上げ」のサービスがお客様の支持を集め、大きく事業を拡大しました。その後、私が後を継いだ時に直営店の経営に重点を置くべく方針を転換。現在は、直営店5店舗、取次店5店舗の10店舗を展開しています。

近年、個人のお客様を対象としたホームクリーニングの需要が減少する中、新たな顧客獲得の手だてとして取り入れたのが、コインランドリーです。家庭用洗濯機に比べて圧倒的な速さで洗濯、乾燥を終えられる上に、布団などの大きなものもその日のうちに洗濯できることから、女性や主婦、高齢者の方の利用が増えています。当社では、幅広い年齢層のお客様が安心してご利用いただけるよう明るい照明や防犯カメラを設置し、安全・快適な店づくりを心がけています。

### 店舗に併設したコインランドリーで売上拡大

2016(平成28)年に本店を拡大・リニューアルした際、新本店でもコインランドリー事業を開始。それにあたって京都産業21の設備貸与制度を利用し、4台の洗濯機、5台10口の乾燥機を

## コインランドリー設備を導入し クリーニング店の需要を拡大



2016(平成28)年に本店に  
コインランドリーを導入



洗濯機と乾燥機、計14口の  
コインランドリーを設置

導入しました。店舗の改装や新たな大型洗濯機の導入など設備投資が増える中で、今回の支援は大きな助力になりました。

新本店で24時間営業のコインランドリーを開始して約3年、安定的な売上を確保できるようになったことに加え、相乗効果でクリーニングの受注も増加しています。

さらに将来を見据え、現在は事業者のお客様を対象とした産業クリーニングにも販路拡大を図っています。大手企業と契約し、大規模施設のリネン類のクリーニングを受注。季節を問わず、安定した売上増加につながっています。今後、個人のお客様も大切にしながら、産業クリーニングの受注も今以上に増やしていくつもりです。



大型洗濯機を導入し、  
産業用クリーニングも受注

また後継者となる息子が中心になって顧客管理、売上管理、販売促進のためにクラウドシステムを導入するなど、新たなことにも着手しています。今後も時代の変化に対応しながら成長していきたいと考えています。

### Company Data

- 代表取締役社長/塚本 保久
- 所在地/京都府城陽市長池北清水49-1
- 電話/0774-52-0129 ●創業/1955(昭和30)年7月
- 事業内容/クリーニング事業、コインランドリー事業、特殊クリーニング

●お問い合わせ先/ (公財)京都産業21 事業支援部 設備導入支援グループ TEL.075-315-8591 E-mail:setubi@ki21.jp

**SCREEN**

Graphic arts equipment  
Inspection & Measurement  
Display & Coater  
Advanced ICT solution  
Energy  
Life Sciences  
semiconductor production equipment  
PCB-related equipment

**Eyes on innovation**  
世界をリードする最先端テクノロジーで  
エレクトロニクス産業の未来を創る

株式会社 **SCREEN** ホールディングス  
www.screen.co.jp

創業・経営革新に必要な機械・設備・車両・ソフト等の導入を応援します。

# 設備投資なら、財団の割賦販売・リース



## 小規模企業者等ビジネス創造設備貸与(割賦販売・リース)制度

本制度は、小規模企業者等の方が経営革新に必要な設備を導入する場合、又は、これから創業しようとする方が必要な設備を導入する場合に、希望の設備等を財団が代わってメーカーやディーラーから購入して、その設備等を長期かつ固定損料(金利)で割賦販売(分割払い)またはリースする制度です。

### ■ご利用のメリットと導入効果

- 信用保証協会の保証が不要です。  
→信用保証協会の保証枠に余裕を残せます。
- 金融機関借入枠外で利用できます。  
→運転資金等の資金調達枠を残したまま、設備投資が可能です。
- 割賦損料・リース料率は、固定損料(金利)の公的制度です。  
→安心して長期事業計画が立てられます。先行投資の調達手段として有効です。



区 分	割賦販売	リース
対象企業	京都府内に事業所・工場等がある小規模企業者等・創業者。 原則、従業員数(役員・パート除く) 製造業・その他業種 20名以下/商業・サービス業 5名以下の企業。 但し、全業種 従業員数(役員・パート除く) 50名以下の企業も可能な場合があります。 ※個人創業1ヶ月前・会社設立2ヶ月前～創業5年未満の企業者(創業者)も対象です。	
対象設備	新品の機械・設備・車両・プログラム等(土地、建物、構築物、賃貸借用設備等は対象外)	
対象設備の金額	100万円～1億円(消費税込み)/年度まで利用可能です。	
割賦期間及びリース期間	10年以内(償還期間)(ただし、法定耐用年数以内)	3～10年(法定耐用年数に応じて)
割賦損料率及び月額リース料率	年1.6%/年1.9%(2段階) (設備価格の10%の保証金が契約時に必要です)	3年 2.967%～ 4年 2.272%～ 5年 1.847%～ 6年 1.571%～ 7年 1.370%～ 8年 1.217%～ 9年 1.101%～ 10年 1.008%～
連帯保証人	原則不要 ※法人の場合は、代表者の個人保証が必要です。ただし、「経営者保証に関するガイドライン」に則し判断します。	

※商工会議所・商工会の推薦があれば割賦・リース期間を最大10年を限度に2年間延長することが可能です。事前にご相談ください。

## 創業・経営革新に必要な機械・設備・車両・ソフト等の導入を支援します。

- ◆目的：創業、又は小規模企業者等の経営革新を支援するための制度です。
- ◆特長：低利・長期で利用でき、伴走型支援で経営をサポートします。

■設備投資の際は、是非一度お問い合わせください。■

小規模企業者等  
ビジネス創造設備貸与制度  
公的資金なら安心有利です!



●お問い合わせ先 / (公財)京都産業21 事業支援部 設備導入支援グループ TEL.075-315-8591 E-mail:setubi@ki21.jp

**YUSHIN**  
できない無理には出発表

株式会社 ユーシン精機  
〒601-8205 京都市南区久世殿城町 555 番地  
TEL : 075-933-9555 FAX : 075-934-4033

販路開拓  
企業連携・  
産学入連携  
人材育成  
補助金・  
助成金  
設備導入  
創業・  
事業承継  
相談・  
専門家派遣  
経営革新・  
新事業展開  
経営全般他  
機械設計・  
加工  
材料・  
機能評価  
化学・環境  
電気・電子  
食品・バイオ  
表面・  
微細加工  
デザイン  
技術全般他

# 「海外出願・侵害対策支援事業」の公募について

京都産業21では、知的財産権を活用し、海外の出願国において事業展開を行う府内中小企業者の皆様のため、海外出願・侵害対策支援事業を実施します。



## 【内容】

外国特許庁への特許、実用新案、意匠、商標及び冒認対策商標の登録・出願に要する経費の一部を補助します。

## 【公募】

### 1 受付期間

令和元年5月7日(火)～5月24日(金)

### 2 応募資格

- 京都府内に本社を置く中小企業者等(みなし大企業を除く) 地域団体商標に係る外国出願の場合は、事業協同組合その他の特別の法律により設立された組合、商工会、商工会議所及びNPO法人
- 申請書提出時点において日本国特許庁に既に特許出願等(PCT出願含む)を行っている出願であって、以下のいずれかに該当する方法により、令和元年12月20日(金)までに外国特許庁へ同一内容の出願を行った上で弁理士に支払いを完了し、令和2年1月20日(月)までに京都産業21へ実績報告書を提出予定であること。

- ・パリ条約等に基づき、優先権を主張して外国特許庁への出願を行う方法
- ・特許協力条約に基づき、外国特許庁への出願を行う方法(PCT出願を同国の国内段階に移行する方法)
- ・ハーグ協定に基づき、外国特許庁への出願を行う方法
- ・マドリッド協定議定書に基づき、外国特許庁への出願を行う方法

- 交付決定前に外国出願した案件は対象となりません(弁理士への発注を含む)。また、交付決定前に発生した費用(例えば翻訳費)についても補助対象になりません。

【公募要領及び申請書ダウンロード】

<https://www.ki21.jp/information/tokkyo/h31/>

### 3 補助内容

- 採択予定件数：特許10件 実用新案1件 意匠1件 商標及び冒認対策商標5件
- 補助率：1/2以内
- 1企業の補助金総額(1会計年度内:消費税等を除く) 300万円以内/年
- 1出願別の補助金額(1会計年度内:消費税等を除く)  
(イ)特許 150万円以内/件  
(ロ)実用新案、意匠又は商標(冒認対策商標は除く) 60万円以内/件  
(ハ)冒認対策商標 30万円以内/件
- 補助対象経費：  
●外国出願料 ●現地代理人費用 ●国内代理人費用 ●翻訳費用 など
- ・1企業の上限額は京都産業21の他に、日本貿易振興機構(JETRO)、京都高度技術研究所(STEM)で各々採択された場合はその合計額となります。
- ・補助金申請額は補助対象経費を1/2にした後、1,000円未満は切り捨てです。
- ・日本国特許庁への出願経費及び、消費税、海外付加価値税(VAT)等は対象外です。(詳細は京都産業21までお問い合わせください)

### 4 採択決定

審査日：令和元年6月14日(金)(予定)

採択事業者決定：7月初旬(予定)

### 5 提出方法

持参(平日の午前9時～正午及び午後1時～午後5時)又は郵送(5月24日(金)の消印有効)。押印不要の書類に限り、データによる提出も可能。応募を検討される場合は事前にご相談下さい。

●提出先及び問合せ先／(公財)京都産業21 イノベーション推進部 産学公住連携グループ TEL:075-315-9425 E-mail:sangaku@ki21.jp

**muRata**  
INNOVATOR IN ELECTRONICS  
村田製作所

独自の技術やソリューションを通して「つくる人」を応援したい。そんな思いを10体のロボットにこめて村田製作所チアリーディング部をつくりました。たおれそうでたおれない、ぶつかりそうでぶつからない。村田製作所の高いセンサ技術と通信技術が生み出した。ちょっと不思議なパフォーマンスで世界中の「つくる人」を応援します。

フレ!フレ!つくる人。

# 下請かけこみ寺のご案内

相談  
無料

秘密  
厳守

匿名  
可能

中小企業の取引上の悩み相談を相談員や弁護士がお聞きします

「下請かけこみ寺」は、下請取引の適正化を推進することを目的として全国48ヶ所に設置されており、中小企業の取引上の悩みについて、企業間の取引や下請代金法などに詳しい相談員が無料で相談に応じる仕組みです。また、相談員が必要と判断した場合は弁護士のアドバイスも無料で受けていただくことができます。もちろん秘密は厳守します。電話でのご相談も可能ですので、お気軽にご相談ください。

**時間** 相談受付 月～金曜日(9:00～17:00)

**電話** TEL:フリーダイヤル 0120-418-618

窓口でのご相談をご希望の場合 **要予約**

**場所** 京都府産業支援センター内 1階  
お客様相談室

※相談員が不在の場合がありますので、必ず事前にお電話ください。

## こんなときにはぜひご相談を

支払いの期日を過ぎても代金を払ってくれない

材料が高騰しているのに単価引き上げに応じてくれない

発注元から棚卸し作業を手伝うよう要請された

長年取引していた先から、突然に取引を停止された

「歩引き」と称して、代金から一定額を差し引かれた

キャンセルされたので部品が不要と言って返品された

責任がないのに、発注した物品などの受領を拒否された

## 下請かけこみ寺巡回相談

京都府内の5ヶ所において下記の日程(予定)により実施しています。こちらも相談員が無料で相談に応じるうえ、相談員が必要と判断した場合は弁護士のアドバイスを無料でお受けいただけます。お近くの相談会場をご利用ください。

### 巡回相談の日程

	山城	亀岡	南丹	中丹	丹後
4月	16日(火)	—	3日(水)	—	—
5月	—	14日(火)	—	22日(水)	21日(火)
6月	18日(火)	—	—	—	—
7月	—	16日(火)	3日(水)	24日(水)	23日(火)
8月	20日(火)	—	—	—	—
9月	—	17日(火)	—	25日(水)	24日(火)
10月	15日(火)	—	2日(水)	—	—
11月	—	12日(火)	—	20日(水)	19日(火)
12月	17日(火)	—	—	—	—
1月	—	14日(火)	—	22日(水)	21日(火)
2月	18日(火)	—	5日(水)	—	—

**会場** **山城**: 久御山町商工会  
久世郡久御山町田井浜代5-1 電話 075-631-6518  
**亀岡**: ガレリアかめおか  
亀岡市余部町宝久保1-1 電話 0771-29-2700  
**南丹**: 南丹市国際交流会館  
南丹市園部町小桜町62-1 電話 0771-63-1777  
**中丹**: 北部産業創造センター  
綾部市青野町西馬場下33-1 電話 0773-43-4340  
**丹後**: 丹後・知恵のものづくりパーク  
京丹後市峰山町荒山225 電話 0772-69-3675

**時間** 相談時間 いずれの会場も相談時間は13:00～15:00

●提出先及び問合せ先 / (公財) 京都産業21内「下請かけこみ寺」 TEL: 0120-418-618 E-mail: kakekomi@ki21.jp

いま世界で楽しまれているソフトは  
〈トーセ〉かもしれない。

Alaska 21:20      Kyoto 15:20      New York 01:20      Cairo 08:20

トーセは、エンタテインメントコンテンツを開発する  
日本最大級の企画提案型、受託開発企業です。

地球のココロおどらせよう。  
株式会社 **トーセ**

京都本社 / 〒600-8091 京都市下京区東洞院通四条下ル <https://www.tose.co.jp/> 東証一部上場 4728

# FOODEX JAPAN 2019「京都ブース」出展報告 「京都のこだわり食材試食会・商談会」開催報告

## ■FOODEX JAPAN 2019 出展

京都産業21では、「きょうと農商工連携応援ファンド」「きょうと元気な地域づくり応援ファンド」の採択事業者と、「京の食ブランド推進プロジェクト」で支援している事業者を対象として、FOODEX JAPAN 2019／第44回 国際食品・飲料展に「京都ブース」を設け、15社の食品関連企業と出展しました。



- 会 期：平成31年3月5日(火)～8日(金) 〈京都ブース〉
- 会 場：幕張メッセ
- 出展者数：約3,316社
- 全体来場者数：80,426人
- 名刺交換件数：約1,300枚
- 商談件数：約120件

FOODEXは、1976年より毎年開催されており、今回で44回目を迎えます。国内外から多くのバイヤーが来場されるアジア最大級の食品・飲料専門展示会です。例年、海外からのバイヤーも多く、本年は全体来場者数の約15パーセントを占めました。京都産業21で団体出展をすることで、「京都」を効果的にPRすることができ、出展企業は多くのバイヤーとの商談を積極的に行っていました。



### 各社の感想

- ◎試作品を持参して好評を得ることができた。現在複数社からの問い合わせや、大手2社との商談を進めている。
- ◎京都府内の事業者がまとまって出展し、大きくブースを構えることで、集客効果やブランド宣伝効果につながった。
- ◎既存顧客とのコミュニケーションのほか、新規取引に向けた商談を行うことができた。
- ◎バイヤーからの率直な意見を聞いたので、今後の改良につなげていきたい。

### ■出展企業(50音順)

天の酒喰食房、(株)アンデ、(有)田舎暮らし、京西陣菓匠宗禅、(株)伍八山椒堂、佐々木酒造(株)、(株)食一、(株)辰馬コーポレーション、(株)たにぐち、丹波ワイン(株)、テアニン(株)、(株)中嶋農園、(有)農業法人 京都特産ぼーく、(株)Fujitaka、(有)やくの農業振興団

## ■京都のこだわり食材 試食会・商談会



FOODEXで京都ブースの出展企業と商談を希望するバイヤー20人を招き、上記15社の食材を使ったメニューを提供。食材の使い方紹介や試食を行った後に商談する販路開拓支援を、初めて実施しました。

- 会 期：平成31年3月15日(金)
- 会 場：池袋WACCA内『もうひとつのDaidokoro』
- 商談件数：約100件

### バイヤー試食会 各社の感想

- ◎FOODEXで商談したバイヤーとスパンを空けずに商談ができたため、お互いに鮮度の良い状態で話を進めることができた。
- ◎通常であれば、商談した企業へ個別に訪問する必要があるが、試食会にお越しいただけたので一度に商談を行うことができた。
- ◎飲食業のバイヤーとの商談をもっと多くしたかった。
- ◎マーケティング構想が未完成での出展だったため、まとめる必要性を感じた。



●お問い合わせ先 / (公財)京都産業21 イノベーション推進部 産業育成グループ TEL:075-315-8848 E-mail:hojoshien@ki21.jp

きょうと元気な地域づくり応援ファンド・きょうと農商工連携応援ファンド

# 第1回京都インターナショナル・ギフト・ショー2019 共同ブース 出展報告

京都産業21では、「きょうと元気な地域づくり応援ファンド」「きょうと農商工連携応援ファンド」に採択された事業者を対象として、第1回京都インターナショナル・ギフト・ショー2019に京都産業21ブースとして共同出展。販路開拓の支援を行いました。

- 会 期：平成31年3月6日(水)・7日(木) 〈共同ブース〉
- 会 場：みやこめっせ
- 出展者数：307社
- 全体来場者数：24,711人
- 名刺交換枚数：約900枚
- 商談件数：約90件



これまで東京・大阪・福岡で開催されてきた生活雑貨の見本市「インターナショナル・ギフト・ショー」が、今回初めて京都で開催されました。

京都産業21共同出展ブースでは9社4グループ 計27社が出展。参加事業者代表としてオープニングで澤田専務理事がテープカットに参加しました。

出展事業者の(株)丸二は京からかみの魅力発信のために自店舗で開催している、はがきサイズのからかみ刷り体験プログラムを案内。3月8日のオープンファクトリーにも参加し、工房公開しました。

(株)京都絞美京は京呉服で培った「絞り染め」技術を使った京鹿の子絞りのスカーフやリビング雑貨などを「KIZOMÉ」ブランドとして紹介。(株)辻商店は新作懐紙や懐紙入れを展示。京都ギフトショー会場であるみやこめっせ近くに移転開店した店舗もPRしました。(有)み彌けは京人形伝統工芸士が手掛ける本格的な甲冑カバン「Samurai Armor Bag」シリーズのカバンや財布などを、隣ブースのGOLDREAM/京箔押工房ゴールドリームは、伝統工芸士である金箔押職人の技術から生み出した鞆や財布などをそれぞれ展示。甲冑と金箔のシックなバッグが並ぶことにより、一層の注目を浴びていました。

西田製函(株)はプラスチック板加工の製函技術を活かしたカラフルなプラスチック製の帽子入れやティッシュケース、宅配ボックスなどを披露しました。京北町に工房を構えるひなギク工房は接着剤からこだわった草木染の自然派花器などを展示。優しい色合いの木製花器が、多くのバイヤーの興味を引いていました。

(株)青木光悦堂は酒粕やゆずなど京都のいろいろな産品とコラボした金平糖を披露。(株)エーゲルは世界から厳選したコーヒー豆と京都宇治の銘茶を2年以上の歳月をかけて研究しブレ

## ■出展企業・グループ(50音順)

(株)青木光悦堂、(株)エーゲル(京茶珈琲)、(株)丸二、(株)京都絞美京、(有)み彌け、黒谷和紙&りてん堂、GOLDREAM/京箔押工房ゴールドリーム、丹後ええもん工房、丹後の暮らしの布、(株)辻商店、西田製函(株)、ひなギク工房 Made in 宮津・新作ギフトの会



ンドした「京茶珈琲」をPR。試飲を求める人が途切れず、盛況でした。

また、京都府の北部地域からは応援ファンド採択事業者を含む4グループが参加。

Made in 宮津・新作ギフトの会では地元産品を活用した新商品であるちくわや乾物、酢を使った生チョコレートなどを4社が発表。黒谷和紙&りてん堂では手漉きの黒谷和紙を使用した雑貨や壁掛け、扇子などを展示。5社からなる丹後の暮らしの布は丹後ちりめん培った伝統的な織技術を活かしたベビー服や布団などでシルクのあたらしかたちを提案。丹後ええもん工房は織物、畳、ガラス、桑茶など工夫を凝らしたギフト商品などを展示しました。

東京ギフトショーと比べて京都ギフトショーの規模は小さいですが、会場内は非常に賑わい、企業によっては東京ギフトショーより名刺交換数も多く、中身の濃い出展となりました。

こんにちは、  
京都産業21です。

## 「Give & Give & Give」

私は約30年前旧京都産業情報センター（平成13年に（財）京都府中小企業振興公社、（財）京都産業技術振興財団、（財）京都産業情報センターが統合し（公財）京都産業21となる）に入所しました。その頃は”異業種交流“が全国的にも活発で、その中でも京都が先端を走っている時でした。入所後直ちに異業種交流事業の担当に就き、京都プロジェクト事業という中小企業が持つ技術を交流することによって新たな製品開発を行うプロジェクトの事務局として参加しました。プロジェクトは3つ。そのうちの一つは現在の植物工場の魁とも言える「農業工業化機器開発プロジェクト」。このプロジェクトは後に融合化法の適用を受けて協同組合を設立し研究を進めました。これらのプロジェクトを指導されていたのが、京都の異業種交流を指導されていた大門 博先生（当時、財団法人生産開発科学研究所 専務理事）と戸出 武先生でした。その戸出先生が当時京都産業情報センターに従事されており、その出会いがきっかけで異業種交流や連携、情報収集の大切さを学び、京都異業種企業技術・市場交流プラザ事業や京都異業種交流推進協議会（コンパウンド京都）等の事務局を担当させて頂きました。経営者の皆様からも交流・連携・情報の大切さを学ばせて頂いた時代でした。

異業種交流・連携では、一社では出来ない事が数社集まれば大きな力になり不可能が可能になる。しかし、ただ集まるだけでは何も生まれず、不可能を可能とするには企業間の深い交流が鍵になります。本音の情報交流ができるまでは時間がかかりますが、この交流が出来ている京都試作ネットさんや京都自動設備支援ネットワーク（チーム京都）さん、京都異業種交流会KyooHooさんのように活躍されているグループがあり、微力ながら財団としてもご支援させて頂いているところです。

また、大門先生と戸出先生から学んだことは、特に質の高い交流や情報を収集するには、まず自分から情報を発信して発信して発信すること。発信することによって情報が集まって来

る。「Give & Take」ではなく、「Give & Give & Give」。この精神は今も私の行動指針の一つになっています。

私は4月から事業支援部に配属されています。

この部は、受発注取引あっせん事業、設備貸与事業、広域商談会開催事業、京都ビジネス交流フェア開催事業、下請取引適正化事業等、主にものづくり系企業のご支援と海外での展示会・物産展開催、バイヤー招聘等の海外販路開拓事業を行っています。また、京都経済センターにある京都府経済交



流課分室には海外販路開拓コーディネーターを設置するとともに、京都商工会議所、ジェトロ京都等との他団体間の連携も



密にし、海外販路開拓の相談も行っています。

今後より良い情報を発信続けられるよう心がけていきますのでよろしくお願い申し上げます。

事業支援部 部長 巽 健次

◆ものづくり系に関するご相談 TEL.075-315-8590  
(京都市下京区中堂寺南町134京都リサーチパーク内)

◆海外販路開拓に関するご相談 TEL.075-366-4364  
(京都市下京区四条通室町東入函谷鉦町78 京都経済センター3階)

※本コーナーでは、京都産業21の多様な取組みを職員目線でご紹介します。



私たちイシダグループは、  
世界中のお客様の課題を革新的に解決し、  
安全・安心で豊かな社会の創造に貢献します。

はかりしれない技術を、世界へ。

 **ISHIDA**

株式会社イシダ [www.ishida.co.jp](http://www.ishida.co.jp)

本社 京都市左京区聖護院山王町44 〒606-8392 TEL 075-771-4141

# 受発注あっせん情報

## 受発注あっせんについて

- 本コーナーに掲載をご希望の方は、販路開拓グループ(TEL:075-315-8590)までご連絡ください。**掲載は無料です**
  - 本コーナーの情報は毎週火曜日、京都新聞及び北近畿経済新聞にも一部掲載します。
- ※取引に関する交渉等は、双方の責任において行ってください。  
 ※受発注に際しては、文書(注文書等)による取引確認を行ってください。  
 ※お問い合わせの際に、案件が終了している場合もございますので、あらかじめご了承ください。

## 業種No.凡例

機：機械金属加工等製造業  
 織：縫製等繊維関連業種

電：電気・電子機器組立等製造業  
 他：その他の業種

## 発注コーナー

\*あっせんを受けられた企業は、その結果についてご連絡ください。

業種No	発注品目	加工内容	地域・資本金・従業員	必要設備	数量	金額	希望地域	その他の条件・希望等
機-1	半導体製造装置など産業機器部品(丸物の40~φ80、プレート40mm×800mm)	切削加工(フライス、旋盤、中ぐり、タップ立てなど)	伏見区 1000万円 30名	フライス盤、旋盤、マシニングセンタ	1個~100個 (1個~10個が中心)	話合い	京都府・大阪府・滋賀県	●運搬受注側持ち
機-2	機械設計(部品洗浄機及び周辺機器)	構想・設計・組立図作成・部品図作成のどの部分でも可	下京区 1000万円 8名	CAD(2D・3Dどちらでも可)	数件	話合い	京都府	●既存機の改善設計・工具の見直し・新規設備など、小さなアイテムから対応していただける尚可
機-3	精密機械部品	切削加工	久御山町 1000万円 21名	立形マシニングセンタ(X800×Y500)、立形フライス盤(X750×Y400)	1個~100個、リベート品も有り	話合い	京都府南部	●原則運搬受注側持ち 継続取引希望
機-4	油圧マニホールド(150角程度が中心)	フライス加工・穴あけ加工・タップ加工・PTタップ加工・平面研削加工・灯油洗浄(切削除去)	伏見区 1000万円 18名	フライス盤・ボール盤・研磨機・洗浄機	1個~数個	話合い	京都府南部地域希望	●原則運搬受注側持ち
機-5	打ち抜きプレス装置(エアー・油圧・サーボ、300角~600角)	電子回路設計・ソフト設計及び組立	伏見区 1000万円 14名	CAD/CAM	1台~数台	話合い	不問	●運搬話合い
織-1	婦人服(ジャケット、スカート、ワンピース、ブラウスなど)	縫製	宇治市 1000万円 18名	本縫いミシン、オーバーロック	話合い (少量からでも対応可)	話合い	不問	●運搬話合い
織-2	のれん	裁断~縫製	西京区 1000万円 11名	ラッパミシン	5枚~10数枚/ロット	話合い	不問	●基本サイズ:90cm×150cm 素材:綿・麻・ポリエステル
織-3	外国人向け お土産用浴衣、半天	裁断~縫製~アイロン仕上げ	下京区 2400万円 10名	インターロックミシン、本縫いミシン	50着/週程度から。 更に枚数増をご希望される方には増やすことも可	品目別に料金設定あり。 要問合せ	不問	●運搬片持ち

## 受注コーナー

\*あっせんを受けられた企業は、その結果についてご連絡ください。

業種No	加工内容	主要加工(生産)品目	地域・資本金・従業員	主要設備	希望取引条件等	希望地域	備考
機-1	MC,NC,汎用フライスによる精密機械加工(アルミ、鉄、銅、ステン他)	半導体装置、包装機、医療器、産業用機械部品	南区 300万円 6名	立型MC2台、立型NC3台、汎用フライス5台、CAD/CAM2台、自動コンターマシニング2台	試作品~量産品 継続取引希望	京都府・大阪府・滋賀県	運搬可
機-2	超硬、セラミック、焼入鋼など、丸物・角物の研磨加工一式	半導体装置部品、産業用機械部品	南区 100万円 5名	NCフライス1台、NC平面研削盤2台、NCプロファイル研削盤3台、銀ロー付加工、ワイヤーカット1台、細穴放電加工機他	話合い	不問	単品、試作、修理、部品加工大歓迎
機-3	MC,NCによる切削加工	産業用機械部品、精密機械部品	亀岡市 1000万円 15名	NC,MC(立型、横型、大型5軸制御)MAX1600mm×1200mm、鋳鋼可だが鋳鉄不可	試作品~量産品	不問	
機-4	溶接加工一式(アルミ、鉄、ステン)、板金はんだ付、ロー付、高温はんだ付	洗浄用カゴ、バスケット、ステン網(400メッシュまで)、加工修理ステンレスタンク、ステンレススクリュー	城陽市 個人 4名	旋盤、シャーリング、ロールベンダー、アイアンワーク、スポット溶接機、80tプレーキ、コーナーシャー	話合い	京都府南部	大型製造可(丸物φ500×900mm、角物700mm×700mm)
機-5	切削加工、複合加工	大型五面加工、精密部品加工、鋳造品加工	南区 3000万円 20名	五面加工機、マシニングセンタ、NC複合旋盤	話合い 継続取引希望	不問	
機-6	超硬合金円筒形状の研磨加工、ラップ加工	冷間鍛圧用超硬合金パンチ、超硬円筒形状部品	八幡市 300万円 10名	CNCプロファイル、円高研削盤4台、平面研削盤、細穴放電、形状測定機、CNC旋盤	単品、試作品、小ロット対応可	不問	鏡面ラップ加工に定評あります。品質・納期・価格に自信あります
電-1	小型トランス製造(コイル巻き、コイルブロック仕上げ)LED照明販売、電線加工、組立配線	小型トランス全般、組立配線	南区 500万円 3名	巻線機8台、はんだ槽3台、コア挿入機10台、自動ツイスト巻線機2台	話合い	京都市近辺	コイル線径0.04mm~1.2mm。短納期対応可、生産ロット1,000個程度が中心だが単品・多品種少量可
織-1	シルクスクリーン印刷	衣料品(綿)、カバン、オリジナルプリント、Tシャツ、バッグ	久御山町 120万円 3名	製品用捺染台36台(プリント可能サイズ65cm×50cm)、ハシマ式全自動平面転写プレス1台、遠赤乾燥機山型式1台	話合い	不問	箔、フロッキー、発泡グリッター、抜染、四色分解、当社オリジナル特殊プリント有
織-2	肌・掛ふとんの製造加工(縫製~完成品まで)	肌・掛ふとんのふとん側縫製	南丹市 個人 10名	本縫いミシン7台、NCコンフォーターミシン1台、キルトミシン1台、ロックミシン1台(外注)、検針機1台	話合い	京都府近辺地域希望	ふとん以外のミシンを使用した縫製商品の案件も承ります
織-3	仕上げ(縫製関係)、検査	婦人服全般	北区 300万円 8名	仕上げ用プレス機、アイロン、検針器	話合い	話合い	中国製品量産可
他-1	グラフィックデザイン全般	企業・店舗の視覚イメージ形成、文様に依る新規意匠デザイン、ロゴマーク制作、パッケージ制作、その他	右京区 400万円 1名	DTP i-Mac/パソコン2台	特になし	京都府・滋賀県	
他-2	HALCOM(画像処理)開発	対応言語:C/C++、VC++、VB、NET系、Delphi、JAVA、PHP	右京区 2000万円 25名	Windowsサーバー4台、Linuxサーバー3台、開発用端末30台、DBサーバー3台	話合い	京都府・大阪府・滋賀県・その他相談	小規模案件から対応可
他-3	統合型販売・生産管理・製造実行システム・計装制御システム・黒ウコン植物工場栽培管理システム	対応言語:VB、NET、JAVA、C/C++、PLCラダー、SCADA(RS-VIEW/IFIX)他	下京区 1000万円 54名	Windowsサーバー10台、Linuxサーバー5台、開発用端末35台	話合い	不問	品質向上・トレーサビリティ・見える化を実現

●お問い合わせ先 / (公財)京都産業21 事業支援部 販路開拓グループ TEL:075-315-8590 E-mail: market@ki21.jp

販路開拓  
 企業連携  
 産学入通携  
 人材育成  
 補助金  
 設備導入  
 創業・事業承継  
 相談・専門家派遣  
 経営革新  
 経営全般他  
 機械設計  
 材料・機能評価  
 化学・環境  
 電気・電子  
 食品・バイオ  
 表面・微細加工  
 デザイン  
 技術全般他

技術センターでは、中小企業の皆さんの技術基盤の強化や技術者等の養成、新事業展開に役立てていただくため、各種研究会を開催しています。今年度実施する研究会の中から4つの研究会をご紹介します。

## 不良解析技術研究会

新設

製造や流通の過程などで発生する不良品や不具合品。その原因を突き止める手法を学ぶ「不良解析技術研究会」を新たに立ち上げます。本研究会は、少人数制で、会員と当センターの技術職員が実際の事例を元に議論・検討し、よりの確で効率的な手法を研究していくものです。

自社だけでは解決できない問題解決の手がかりを、この研究会でつかみましょう。

### 活動内容

#### 定例会(年5回)

5月、6月、8月、10月、12月(初回はガイダンスを予定)

会員ごとに設定するテーマについて、相互に議論・検討することで、原因究明へのアプローチの方法、分析手法、データの解釈の仕方などを学びます。

### 年会費

無料

### 定員

5名程度(年間を通じて参加可能な方)

### 申込・問合せ先

基盤技術課 化学・環境担当

TEL:075-315-8633 E-mail:kankyo@kptc.jp

### こんなことありませんか?

- 不良品の発生率を下げたい。
- 不具合の原因を突き止めたい。
- 新しく品質管理部門に配属されて、問題へのアプローチ方法が分からない。
- 関連会社からもたらされるデータの読み方が分からない。
- よその会社の技術者と意見交換したい。



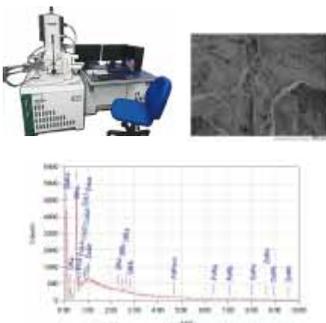
### 研究会では

- 研究したいテーマを各会員が設定!
- 会員同士で議論・検討!
- 当センターの機器による分析を体験!
- 必要に応じて専門家のアドバイスも!

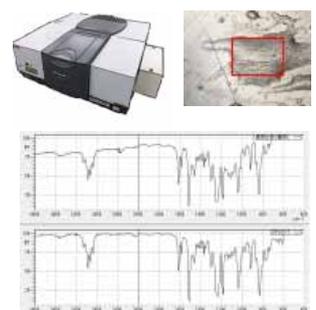


分析データを読み解くと...  
おっ、こんなことも分かるんだ!

元素分析で  
なにかわかるかも?



ウチでは汚れの分析は  
こうしてますよ



機械設計者に必要とされる知識は設計から加工・計測まで、さらには電気関連技術までと非常に広範です。

技術センターでは、機械設計・製図に必要な技術知識から、機械部品等の形状評価を行う実際の計測技術、電気基礎技術まで理解を深める「機械設計・計測技術研究会」を新たに立ち上げます。設計技術力の向上をめざす技術者の皆さんの入会をお待ちしています。

## 活動内容

### ①機械設計・製図の技術知識

- ・寸法公差の基本と使い方
- ・形状設計テクニック
- ・幾何公差の基本

### ②計測技術の概要・実習

代表的な精密計測機器の概論、実習(実演)  
(CNC三次元測定機、表面粗さ測定機等)

### ③電気・電子入門

回路、マイコン、EMCなど

### 開催日時

6月	11日	11月	19日(予定)
7月	24日	1月	21日(予定)
9月	3日	2月	18日(予定)

時間:10:00~17:00

## 対象者

設計・製図経験が2年以上ある技術者で、年間を通じて参加可能な方

### 〈講師〉

山田 学 氏 (株)ラブノーツ 代表取締役  
竹之内 徹 氏 (株)ラブノーツ シニアコンサルタント  
益田 憲明 氏 人財技術教育研究所 代表  
各種測定機器メーカー技術者  
当センター技術職員

## 年会費

1人 10,000円 (別途テキスト代が必要)

## 定員

10名程度

## 申込・問合せ先

基盤技術課 機械設計・加工担当

TEL:075-315-8633 E-mail:mit09@kptc.jp

## こんな方におすすめです!

- 体系的に学びたい方
- 関連することを幅広く習得したい方
- 他の技術者と交流したい方



## 計測技術の概要・実習(実演)で使用する計測機器

### ●曲面微細形状測定システム



仕様 測定範囲:X=120mm,Y=100mm,Z=12.5mm  
測定分解能:0.8nm(Z方向)

測定用途 金属部品等の表面粗さやうねりの測定、薄膜の段差測定、輪郭形状の測定

### ●CNC三次元座標測定機



仕様 測定範囲:X=1,200mm,Y=1,000mm,Z=700mm  
測定精度:空間精度(MPEE)=(0.6+L/800)mm  
[L:測定長さmm]

測定用途 複雑形状部品等の寸法、角度、輪郭形状などを3次的に高精度測定

### ●精密真円度・円筒形状測定機



仕様 最大測定径:φ350mm  
回転精度:(0.01+3H/10,000)μm[H:測定高さmm]  
ゲージ分解能:±1mm範囲/0.008μm

測定用途 精密部品等の真円度、円筒度、同軸度、平面度、直角度、振れ等の測定

## 京都実装技術研究会

京都実装技術研究会は、接合・実装技術を中心に電子機器の生産性や信頼性向上をめざす勉強会として1987(昭和62)年に発足しました。発足直後にフロン廃止への対応を探る活動が大きなテーマとなり、その後も鉛フリー化に代表される有害物質規制(RoHS)の対応など、その時代時代で新たに発生する課題を解決するべく、共同で勉強会を実施するなど、会員の技術向上に努めてきました。現在でも、電子部品の微小化や工程の自動化など新たに解決しなければならない問題が山積しています。当研究会では、以下の活動を通じて、それらの課題解決に向け取り組んでいます。ぜひご参加ください。

### 活動内容

#### ①定例会(年5回)

業界の最先端をつかさどる方々にご講演いただくセミナーや勉強会を開催。実装業界に関わる最新技術動向や課題解決へつながる幅広い情報を学びます。

#### ②工場見学会(年1回)

先進的な取組を行っている工場や、課題解決の参考となる工場・施設などの見学会を開催。

#### ③はんだ付け実技講習会(年2回程度)

実装技術の基本となる手はんだ作業について、実技実習を開催。はんだ付けの原理から、こて先の選び方、難しいはんだ付けの対処方法などを学びます。



#### ④リフロー炉実験(随時)

中小企業技術センターに設置してあるリフロー炉を用いて、新たな実装技術の開発に向けた実験・研究を行う。その成果は、エレクトロニクス実装技術などの業界誌に掲載。

### 年会費

1社 20,000円

(定員に達しない限り1社から複数での参加が可能。会期は4月から翌年3月まで。年度途中の入会も同額。)

### 申込先(事務局)

応用技術課 電気・電子担当

TEL:075-315-8634 E-mail:ouyou@kptc.jp

初回の定例会(オープニングセミナー)のご案内を裏表紙に掲載しています。非会員の方も無料ですので、関心がおありの方はぜひご参加ください。

## 京都光技術研究会 KPS:Kyoto Photonics Society

—京都から光の輪を—



京都光技術研究会は、光技術を切り口として、企業連携による課題解決、新たな製品開発テーマの立ち上げを目的とした活動を行っています(昨年度参加企業22社)。各企業の強みとなる技術を持ち寄ってグループ化を図り、共同開発を行い、事業化を目指す「企業連携開発システムの実現」に取り組んでおり、企業連携による新製品開発を支援していきます。光に関連した技術をお持ちの企業の方や光技術と連携を考えている企業のご参加をお待ちしています。

### 活動内容

#### ①定例会(年8回)

- ・外部講師による講演会、グループごとのミーティング
- ・光技術のトレンド、ニーズの汲み上げ

#### ②グループ別技術検討会及び見学会(随時)

#### ③交流会

会員間の連携を促進するための情報交換を目的とした交流会を随時開催

#### ④光ものづくりセミナー

#### ⑤展示会への出展

これまでの実績/OPIE'18・19(横浜)、  
InterOpto2018(幕張)



OPIE'18



InterOpto2018

### 体制(2019年度・敬称略)

会長 山下 幹雄(北海道大学名誉教授)

アドバイザー 春名 正光(大阪大学名誉教授)

栗辻 安浩(京都工芸繊維大学教授)

田中 智子(同志社大学)

### 年会費

1社 20,000円

(定員に達しない限り1社から複数での参加が可能。会期は4月から翌年3月まで。年度途中の入会も同額。)

### 申込先(事務局)

応用技術課 電気・電子担当

TEL:075-315-8634 E-mail:ouyou@kptc.jp

### 次回例会のご案内

日時 令和元年5月17日(金) 13:00~

会場 京都府産業支援センター5階研修室

費用 非会員企業の方は初回参加のみ無料

本調査は、技術センターが府内の製造業者の保有技術を中心に、経営動向、直面する課題等の現状を把握し、今後の技術支援施策等の企画、実施に役立てることを目的に平成25年度より実施しているものです。今回は加工性の高さや物理・化学的特長などから、広く普及し、日々の暮らしから先端産業に至るまでさまざまな分野で利用されているプラスチックを用いた製品を製造するプラスチック製品製造業に焦点を当てました。ここではその結果の一部を紹介します。

## 1 調査の概要

製造業全体に占めるプラスチック製品製造業の位置づけを全国、近畿、京都で比較するため、平成29年の工業統計調査表(産業編・平成28年実績)をもとに分析しました。また、京都府内のプラスチック製品製造業を営む事業所に対し、調査票によるアンケート調査を実施し、62社から回答を得ました。更に、このうち承諾が得られた事業所に対してヒアリング調査も行いました。

## 2 工業統計調査の分析

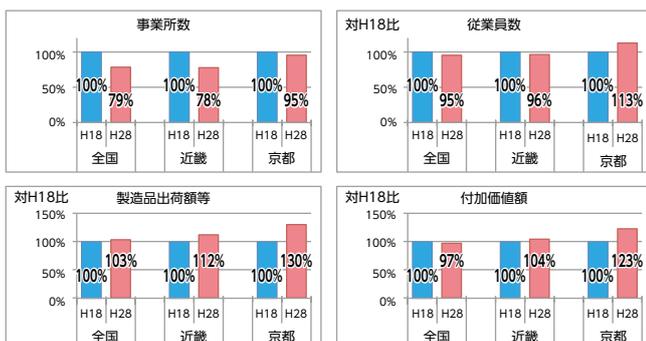
初めに全国、近畿と比較したところ、京都では、製造業全体におけるプラスチック製品製造業が占める割合は、相対的に小さいことがうかがえました(図表1)。

次に10年前と比較した場合、全国的にはプラスチック製品製造業界は、事業所数が減少し、従業員数や製造品出荷額、付加価値額についてはおよそ同程度となっています。一方、京都では、事業所数は比較的維持されており、従業員数、製造品出荷額や付加価値額が伸びてきているところです。

このことから、京都では、製造業全体に占める割合が小さいながらも、プラスチック製品製造業では活発な生産活動が行われている状況がうかがえました(図表2)。

地区区分	産業名称	事業所数	従業員数	製造品出荷額等	付加価値額
全国	製造業計	191,339ヶ所	7,571,369人	3,020,356億円	972,324億円
	プラスチック製品製造業	12,349ヶ所	425,035人	117,645億円	42,598億円
	製造業計に対する比率	6.5%	5.6%	3.9%	4.4%
近畿	製造業計	36,859ヶ所	1,279,658人	501,472億円	170,666億円
	プラスチック製品製造業	2,671ヶ所	79,925人	23,011億円	8,723億円
	製造業計に対する比率	7.2%	6.2%	4.6%	5.1%
京都	製造業計	4,398ヶ所	143,999人	54,486億円	20,167億円
	プラスチック製品製造業	233ヶ所	6,593人	1,603億円	621億円
	製造業計に対する比率	5.3%	4.6%	2.9%	3.1%

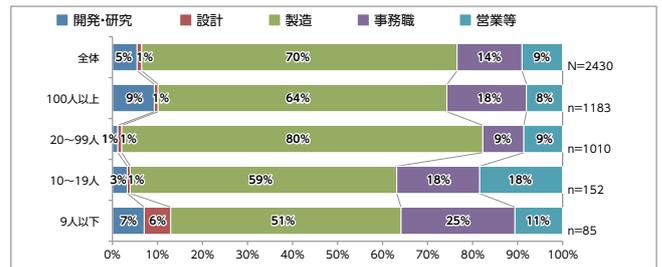
図表1 プラスチック製品製造業の規模(H28)



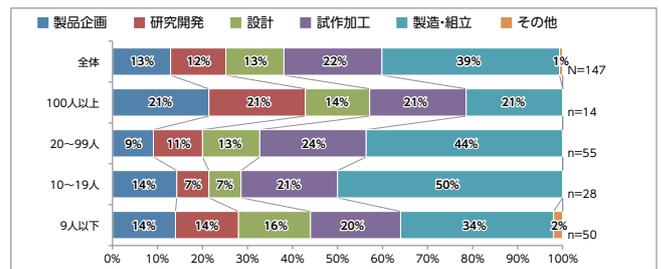
図表2 プラスチック製品製造業の規模の推移

## 3 アンケート調査の分析

次に示すのは、従業員規模別に「従業員の職種割合(図表3)」、「事業所の業務割合(図表4)」をグラフ化したものです。



図表3 従業員規模別 従業員の職種割合



図表4 従業員規模別 事業所の業務割合

アンケートの結果、プラスチック製品製造業における大半の従業員が製造に従事するという回答でした。また、事業所の業務割合については、「製品・企画」、「研究開発」及び「設計」という回答をある程度の割合で認めました。これら研究開発等の業務について、ヒアリングの結果から、受注した製品を製造する過程や方法の研究開発、金型の設計等といった業務が行われており、生産を主軸にしながら、その周辺の技術的課題を研究、開発するという状況がうかがえました。

## 4 ヒアリング調査の結果

ヒアリング結果の一例として、どの従業員規模の事業所においても、従業員の採用に苦慮し、パートタイマーやアルバイトからの社員募集や中途採用、地縁による直接採用などで人材の確保に取り組んでいることが聞かれました。ただし、パートタイマー及びアルバイト自体の採用が難しく、作業現場の環境改善や交通手段の確保、休暇の取りやすさの向上など就労環境の改善に努力しているとの声もありました。

また、求人はハローワークや折込みチラシに代わって、タウン誌や求人サイトなどが有効な手段として認知されている状況であることがうかがえました。

# 京都府中小企業特別技術指導員と ハイテク技術巡回指導のご紹介

技術センターでは、相談内容に応じて大学教授などの専門家である「京都府中小企業特別技術指導員」により、新規技術導入検討や製品開発上の技術課題等の早期解決に向けて無料で助言・指導いただく体制も整えていますので、お気軽にご相談ください

## 京都府中小企業特別技術指導員とは

「京都府中小企業特別技術指導員」(以下、「特別技術指導員」といいます。 )とは、中小企業の創造的な技術開発、製品開発における技術課題の解決や生産技術の改善高度化により、研究開発力の向上を図るため、当センターから外部専門家に協力を依頼する制度です。次ページの一覧表に記載のとおり、さまざまな分野の専門家を特別技術指導員として登録し、活躍いただいています。

## ハイテク技術巡回指導事業

当センターでは、府内中小企業の皆さまからの相談に対して、製品開発や技術課題の解決への支援を行っていますが、さらに専門性が高い支援が必要な場合には、当センターから特別技術指導員など外部専門家を皆さまの会社へ直接派遣して助言または指導を行う制度をご用意しており、無料でご利用いただくことができます。

※専門家及び当センター職員は指導上知り得た情報を漏らすことはありません。

※相談分野によっては対応困難な場合がありますので、ご了承ください。

## ハイテク技術巡回指導事業ご利用の流れ

①まずは当センターへご相談を

まずは、下表の相談分野を参考に当センターへご相談ください。内容をお聞きし、対応の可否を判断させていただきます。

### 相談窓口一覧

主な相談分野	担当課	問合せ先
電気・電子 食品・バイオ 表面・微細加工 デザイン	応用技術課	075-315-8634 ouyou@kptc.jp
材料・機能評価 機械設計・加工 化学・環境	基盤技術課	075-315-8633 kiban@kptc.jp
企画・情報	企画連携課	075-315-8635 kikaku@kptc.jp

※上記の3担当課以外に、当センターでは、綾部市に中丹技術支援室(0773-43-4340, chutan@kptc.jp)、木津川市・精華町にけいはんな分室(0774-95-5050: keihanna@kptc.jp)を設置しており、そちらでもご相談をお受けしています。

②外部専門家の活用を検討します

当センターの技術職員だけではご相談への対応に限界がある場合、次ページに掲載の外部専門家へ対応を依頼することを検討いたします。

③技術指導申込書のご提出を

外部専門家の対応が可能となった場合は、技術指導申込書に会社情報、指導希望日、技術指導を希望される分野および内容をご記入の上、当センター担当へご提出をお願いします。

④専門家派遣の決定

申込書の内容を所内で確認し、専門家の派遣を決定します。

⑤専門家と当センター担当職員が訪問し、技術指導します。

※ハイテク技術巡回指導事業の詳細についてはホームページをご覧ください。

[https://www.kptc.jp/gijutsushien/esp\\_gijutsushidouin/](https://www.kptc.jp/gijutsushien/esp_gijutsushidouin/)

## 当センターの技術相談

技術改善、品質管理、研究開発、新製品開発等、中小企業が抱える技術に関する様々な悩みや課題について、アドバイスや情報提供等を行なっています。

### 例えばこんなときに

- ・製品の不良原因を突き止めたい。
- ・製品の強度評価、化学分析、表面分析したい。
- ・はんだ付け作業を改善したい。
- ・LEDの機能性について評価してみたい。
- ・RoHS指令が気になっている。



### ご相談ください

- ◎各分野を専門とする当センターの技術職員が連携して支援します。必要に応じて現地へも伺います。(無料)
- ◎外部の専門家と連携して支援します。<ハイテク技術巡回指導事業>(無料)
- ◎測定・分析機器を整備していますので、色々な支援を提供することが可能です。



京都府中小企業特別技術指導員一覧表(44名)

(順不同、敬称略)

専門分野	氏名	所属
応用光学、光工学	栗辻 安浩	京都工芸繊維大学大学院 電気電子工学系 教授
電子機器実装	河合 一男	実装技研 実装技術アドバイザー
電磁波工学、高周波回路	島崎 仁司	京都工芸繊維大学大学院 電気電子工学系 准教授
情報工学	杉浦 司	杉浦システムコンサルティング・インク
電力工学	長岡 直人	同志社大学 理工学部 教授
構造設計・回路設計、品質管理(DRBFM)	中出 義幸	Nakade メソッド研究所 代表
光計測、光デバイス、医光学	春名 正光	大阪大学 名誉教授
画像工学・コンピュータ法工学	藤田 和弘	龍谷大学 理工学部 教授
電力工学・パワーエレクトロニクス	舟木 剛	大阪大学大学院 工学研究科 教授
電気・電子	牧野 勲	(元)日東精工(株) 開発研究所開発二課長
レーザー物理工学	山下 幹雄	北海道大学 名誉教授
光材料加工	吉門 進三	同志社大学 理工学部 教授
食品微生物学	麻生 祐司	京都工芸繊維大学大学院 繊維学系 准教授
応用微生物	小田 耕平	京都工芸繊維大学 名誉教授
食品	谷 吉樹	京都大学・奈良先端科学技術大学院大学 名誉教授
食品衛生	津田 訓範	シーアンドエス株式会社 シニアスーパーバイザー
食品	早川 潔	(元)京都府中小企業総合センター 研究開発課長
食品(食品分子機能学)	後藤 剛	京都大学大学院 農学研究科 准教授
化学(光触媒)	安保 正一	大阪府立大学 名誉教授、元理事・副学長
工業分析化学	河合 潤	京都大学大学院 工学研究科 教授
工業デザイン	櫛 勝彦	京都工芸繊維大学大学院 デザイン・建築学系 教授
プロダクトデザイン・工芸	佐藤 敬二	大手前大学 メディア・芸術学部 講師
プロダクトデザイン	塚田 章	京都市立芸術大学 名誉教授
グラフィックデザイン	舟越 一郎	京都市立芸術大学 美術学部 准教授
工業デザイン	吉田 治英	(株)GK京都 顧問
金属材料(熱処理、粉末冶金、塑性加工等)	赤松 勝也	関西大学 名誉教授
鋳造	市村 恒人	(元)京都府中小企業総合センター 主任研究員
ガラス工学	塩野 剛司	京都工芸繊維大学大学院 材料科学系 准教授
触覚、ロボティクス、メカトロニクス	田中 由浩	名古屋工業大学 電気・機械工学専攻 機械工学分野 准教授
高分子材料強度学	西村 寛之	(元)京都工芸繊維大学大学院 繊維学系 教授
機械要素	久保 愛三	クボギヤテクノロジーズ 代表、京都大学 名誉教授
CAE解析(開発支援)	田村 隆徳	田村技術士事務所
機械設計(3次元CAD)	筒井 真作	キャディック(株) 代表取締役
機械加工	松原 厚	京都大学大学院 工学研究科 教授
塑性加工	会田 哲夫	富山大学大学院 理工学研究部 教授
機械設計・機械加工	川勝 邦夫	舞鶴工業高等専門学校 名誉教授
機械設計	四方 修	(元)日東精工(株) 開発研究所長
機械材料学・材料強度学・材料力学	森田 辰郎	京都工芸繊維大学大学院 機械工学系 教授
金属の腐食・防食	藤本 慎司	大阪大学大学院 工学研究科 マテリアル生産科学専攻 教授
低環境負荷プロセス、無機機能性材料	青井 芳史	龍谷大学 理工学部 物質化学科 教授
品質工学	芝野 広志	TM実践塾 代表
生体力学、生体材料、シミュレーション、医工学	堤 定美	京都大学 名誉教授、日本大学 特任教授、金沢工業大学 客員教授
工業所有権	間宮 武雄	間宮特許事務所 所長
データサイエンス技術	坂井 公一	(有)坂井経営技術研究所 代表取締役

●お問い合わせ先 / 京都府中小企業技術センター 企画連携課 企画・情報担当 TEL:075-315-8635 E-mail:kikaku@kptc.jp

販路開拓  
企業連携・  
産学連携  
人材育成  
補助金  
設備導入  
創業・  
事業承継  
相談・  
専門家派遣  
経営革新・  
新事業展開  
経営全般他  
機械設計・  
加工  
材料・  
機能評価  
化学・環境  
電気・電子  
食品・バイオ  
表面・  
微細加工  
デザイン  
技術全般他

産業界において知的財産の重要性が高まる中、京都府におきましては昭和32年から発明考案・創意工夫の重要性を広く一般に啓発し、科学技術の発展及び発明考案・創意工夫に対する意欲の向上を図るため、毎年、発明等功労者を表彰しています。今回は、下記の方々に決まり、去る4月17日に京都府公館で表彰されました。

発明考案功労者の最優秀賞は、NISSHA(株)の坂田喜博氏、橋本孝夫氏、甲斐義宏氏が受賞されました。

## 発明考案功労者

発明考案の内容が特に優秀で、その実施の効果が顕著な方、または関連発明考案の総合効果が特に顕著な方を表彰します。

### 最優秀賞 1件

(敬称略)

名称	考案者	所属	発明の概要
狭額縁タッチ入力シートとその製造方法(特許第4601710号)	坂田 喜博 橋本 孝夫 甲斐 義宏	NISSHA(株)	静電容量タッチセンサに関する発明。遮光性導電膜を基板の両面に配置することで、両面同時に露光しても他方の面には光が到達しないことから、基板の両面に異なるパターンの電極を形成する方法を考案。本発明により、張り合わせの工程を省略し、一枚の基板両面に高精度でX方向検出用電極とY方向検出用電極を形成でき、従来と比較して、狭額縁で、かつ厚みが薄いタッチセンサの製造が可能となり、同製品の飛躍的な売上拡大に貢献した。

### 優秀賞 5件

(敬称略)

名称	考案者	所属
モーターモジュールシステム(特許第6108645号)	徳田 貴司	(株)Keigan
クロマトグラムデータ処理装置及び処理方法(特許第5962845号)	三嶋 賢一 他4名	(株)島津製作所
基板処理方法および基板処理装置(特許第4498893号)	橋詰 彰夫	(株)SCREENセミコンダクターソリューションズ
パターン描画装置(特許第4390189号)	城田 浩行	(株)SCREEN PEソリューションズ
紡糸巻取装置(特許第5519435号)	橋本 欣三	TMTマシナリー(株)

### 入賞 22件

## 創意工夫功労者

創意工夫の内容が優秀であって、事務能率の促進、作業能率の向上、製品の品質改善、コストの引下げ、販売の増進、公害及び災害の防止などに寄与した実績が顕著な方を表彰します。

### 受賞者 23件

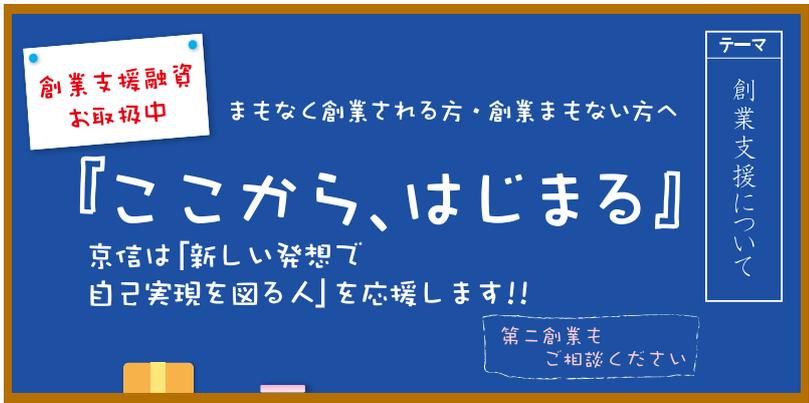
(敬称略)

名称	考案者	所属
補強振分装置の故障およびチョコ停の改善	三谷 祐毅	(株)イトーキ 京都工場

### ほか 22件

※本表彰に関するお問い合わせは 京都府商工労働観光部ものづくり振興課まで。TEL:075-414-5103

●お問い合わせ先/ 京都府中小企業技術センター 企画連携課 企画・情報担当 TEL:075-315-8635 E-mail:kikaku@kptc.jp



●お使いみち 運転資金・設備資金

●ご融資金額 原則として所要資金の80%以内

●ご融資期間 当座貸越は、融資後1年目の応答日以降に迎える決算日の4ヵ月後まで  
(最長約16ヵ月、最長約28ヵ月)

●ご返済方式 証書貸付は、原則として10年以内  
当座貸越は、元金均等分割返済方式

●ご融資利率 証書貸付は、元金均等分割返済方式  
当座貸越 年1.20% (固定金利)  
証書貸付 年2.00% (変動金利)

\*証書貸付は直前の決算の営業利益(注1)が当初の「事業計画書」通り達成されている場合は下記の通りといたします。  
(注1) 個人の場合は青色申告書の経費差引金額とします。

返済期間 7年以内 年1.20% (変動金利)  
返済期間 7年超 年1.50% (変動金利)

\*証書貸付のご融資利率は金利情勢の変化により変更することがあります。表示の利率は、2019年3月31日現在の当金庫短期プライムレート(年2.8%)を基準としたものです。ご融資後の融資利率は当金庫短期プライムレートに連動する変動金利です。

●保証人 『経営者保証に関するガイドライン』に基づいた対応とさせていただきます。

●担保 原則不要。  
ただし土地建物を購入する場合等は担保設定が必要です。

■お申込時に必要な書類等

●当金庫所定の事業計画書および申込書類

■審査の結果、融資をお断りすることがあります。

■くわしくはお近くの店舗までお問い合わせください。

2019年3月31日現在

## 京信創業支援融資制度『ここから、はじまる』

■ご利用いただける方  
当金庫の営業エリア内で、新たに事業を始める方、または事業開始後税務申告を2期終えていない方

■商品概要  
お客様の事業の進捗状況に合わせて、当初は当座貸越、その後事業の進展に伴い証書貸付で、創業を支援する融資商品をご用意いたしました。



# 京都発明協会からのお知らせ(5~6月)

中小企業等の知的財産の創造・保護・活用の促進を目的に、無料相談、講習会、セミナーなどを中心に、中小企業等の支援を行っている京都発明協会の行事をご案内します。

## 知財相談員による知財相談会(無料)

場所/京都発明協会 相談室

### 「知財総合支援窓口」 窓口支援担当者のご紹介

※いずれも事前予約制です。



小倉 一郎



中里 兼次



福本 徹



九鬼 正雄



松岡 宏樹



小林 恵

「知財総合支援窓口」では、特許や商標など知的財産に関する様々な悩み・課題について幅広く相談を受け付け、窓口配置する窓口支援担当者のほか、知財専門家(弁理士・弁護士等)や関係する支援機関と連携して解決に向けたアドバイスを無料で行います。また、窓口において課題解決ができない場合には、中小企業等(個人事業主・創業予定の個人を含む)への直接訪問や知財専門家との共同での支援により課題に対応した提案をします。

●日 程 毎週月曜日～金曜日(休日、祝日を除く) ●相談時間帯 9:00～12:00 & 13:00～17:00

### 「産業財産権相談会」

産業財産権に関する相談をご希望であれば、どなたでも相談可能です。

●日 程 毎週金曜日(休日、祝日を除く) ●相談時間帯 9:30～12:00 & 13:00～16:30

## 知財専門家(弁理士と弁護士)による知財相談会(無料)

場所/京都発明協会 相談室

— 中堅・中小企業、個人事業主、創業予定の個人の方優先 —

### 弁理士による相談

※いずれも事前予約制です。前日(閉館日を除く)の16:00までにご連絡ください。

知財の専門家である弁理士が、特許・商標等の出願から権利取得に至るまでの手続、類似技術や類似名称の調査、ライセンス契約、海外展開における注意点等の知的財産全般について無料でご相談に応じます。

●日 程	5月 7日 清水 尚人氏	5月21日 西川 幸慶氏	6月 6日 仙波 司氏	6月20日 宮澤 岳志氏
	5月 8日 河原 哲郎氏	5月22日 北東 慎吾氏	6月11日 大坪 隆司氏	6月25日 越場 洋氏
	5月 9日 河野 修氏	5月23日 佐野 禎哉氏	6月12日 河原 哲郎氏	6月26日 北東 慎吾氏
	5月14日 大坪 隆司氏	5月28日 越場 洋氏	6月13日 三宅 紘子氏	
	5月16日 久留 徹氏	6月 4日 清水 尚人氏	6月18日 西川 幸慶氏	

●相談時間帯 13:00～16:00(相談時間は原則1時間以内とさせていただきます。)

### 弁護士による相談

知財を専門分野とする弁護士が、自社製品の模倣品が出回った際の対策、知的財産に関する契約への助言、侵害警告を受けた場合の対応、知的財産を巡る訴訟、権利活用上の留意点等の知的財産に関する問題について無料でご相談に応じます。

●日 程 5月29日・6月19日 拾井 美香氏  
●相談時間帯 13:00～16:00(相談時間は原則1時間以内とさせていただきます。)

## 弁理士による“府内巡回”知財相談会(無料)

— 産業財産権に関する相談をご希望であれば、どなたでも相談可能です —

弁理士が府内の商工会議所・商工会等で無料の相談会を開催します。お近くの方は是非ご利用下さい。

※いずれも事前予約制です。前日(閉館日を除く)の15:00までにご連絡ください。

●日 程 5月 9日 舞鶴商工会議所(舞鶴市浜町66) 龍竹 史朗氏  
5月23日 宇治市産業振興センター(宇治市大久保町西ノ端1-25) 宮澤 岳志氏  
●相談時間帯 13:30～16:30(相談時間は原則1時間以内とさせていただきます。)

申込み、お問い合わせ先

一般社団法人 京都発明協会 TEL:075-326-0066(窓口直通)/075-315-8686 FAX:075-321-8374 (https://kyoto-hatsumei.com/)  
〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134 京都リサーチパーク内 京都府産業支援センター2階

京都府中小企業技術センター 企画連携課 企画・情報担当 TEL:075-315-8635 E-mail:kikaku@kptc.jp

## 平成31年4月1日、組織の一部を改正しました!

京都経済センター支所の新設をはじめ、国内及び海外の販路開拓支援の一本化、補助金事業部門の集約、お客様相談室の体制強化を図りました。京都府内中小企業の課題解決に向けた支援、新たなチャレンジの機会の提供など、より一層お役に立てるよう取り組んでまいります。

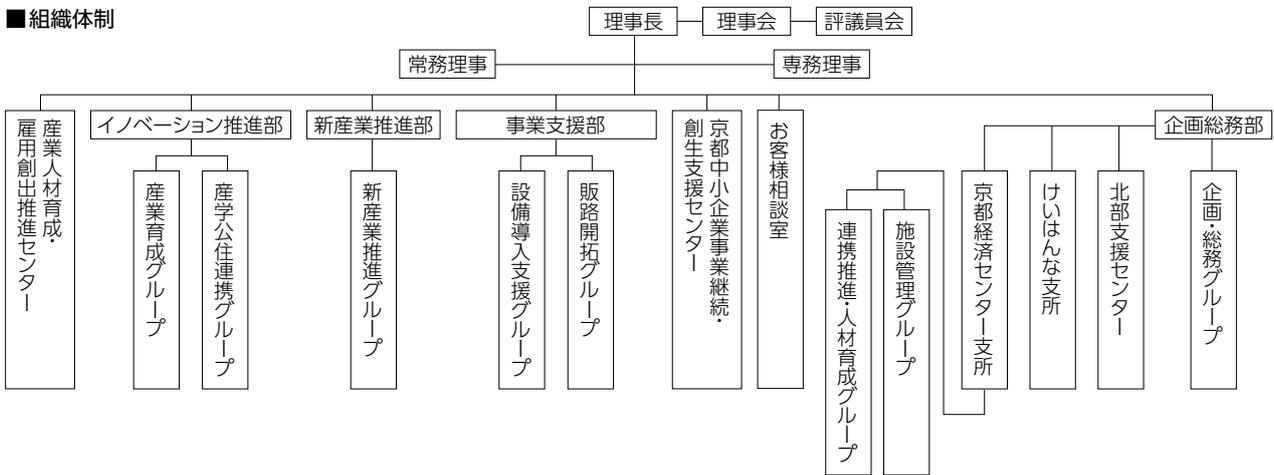
お気軽にご相談ください。

まずは、  
こちらへご相談を

総合相談窓口

〈お客様相談室〉TEL.075-315-8660

### ■組織体制



## 京都府中小企業技術センター トピックス

### 【セミナー案内】

#### 京都実装技術研究会 オープニングセミナー「電子機器半導体デバイスの故障問題解決」

日 時 / 令和元年5月23日(木) 13:00~17:00

テーマ / 電子機器および半導体デバイスの故障問題の解決!

場 所 / 京都府産業支援センター 5階 研修室

～故障解析手順と未然防止手法について～

講 師 / 故障物性ソリューション 味岡 恒夫 氏

※詳細はP17またはホームページをご覧ください。

### 【京都府からのお知らせ】

#### 経済センサス-基礎調査を実施します

総務省・京都府・府内市区町村

- この調査は、我が国における全ての民営事業所の活動状況を明らかにすることを目的とする国の重要な調査で、統計法に基づく報告義務のある基幹統計調査です。
- 調査の結果は中小企業施策や地域振興など、国及び地域行政施策のための基礎資料として利活用されます。
- 調査票にご記入いただいた内容は、統計作成の目的以外(税の資料など)に使用することは絶対にありません。
- 今年の6月から、調査員が事業所の活動状態を外観等から確認し、新たに把握した事業所など一部の事業所には調査票を配布いたしますので、皆様の調査へのご理解・ご回答をよろしくお願いいたします。

〈お問い合わせ先〉京都府企画統計課 産業統計担当(電話 075-414-4496)

#### 2019年工業統計調査を実施します

総務省・経済産業省・京都府・府内市区町村

- この調査は、従業者4人以上の全ての製造事業所を対象に、令和元年6月1日時点で実施します。
- この調査は、我が国における工業の実態を明らかにすることを目的とする政府の重要な調査で、統計法に基づく報告義務のある基幹統計調査です。
- 調査の結果は中小企業施策や地域振興など、国及び地域行政施策のための基礎資料として利活用されます。
- 調査票にご記入いただいた内容は、統計作成の目的以外(税の資料など)に使用することは絶対にありません。
- 調査の趣旨・必要性をご理解いただき、ご回答をよろしくお願いいたします。

〈お問い合わせ先〉京都府企画統計課 産業統計担当(電話 075-414-4509)

## 京都府産業支援センター

<http://www.kyoto-isc.jp/>

〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134



2019年5月発行

年6回(5月・7月・9月・11月・1月・3月)

### 公益財団法人 京都産業21 <https://www.ki21.jp>

代表 TEL 075-315-9234 FAX 075-315-9240

北部支援センター 〒627-0004 京丹後市峰山町荒山225

TEL 0772-69-3675 FAX 0772-69-3880

けいはんな支所 〒619-0294 関西化学術研究都市(京都府 精華・西木津地区) KICK内

TEL 0774-95-2220 FAX 0774-66-7546

KICK TEL 0774-66-7545 FAX 0774-66-7546

京都経済センター 〒600-8009 京都市下京区四条通室町東入函谷鉦町78

TEL 075-708-3333 FAX 075-708-3262



### 京都府中小企業技術センター <https://www.kptc.jp>

代表 TEL 075-315-2811 FAX 075-315-1551

中丹技術支援室 〒623-0011 綾部市青野町西馬場下33-1 北部産業創造センター内

TEL 0773-43-4340 FAX 0773-43-4341

けいはんな分室 〒619-0294 関西化学術研究都市(京都府 精華・西木津地区) KICK内

TEL 0774-95-5050 FAX 0774-66-7546

